

特別活動（ホームルーム）指導案

令和3年10月29日（金） 3・4校時（10:55～12:45） 建築科2年教室 指導者 金子 智栄子

1 題材名 「未来を拓くキャリアプラン」

2 題材観（生徒の実態を含む）

本題材は、高等学校学習指導要領（平成30年告示）特別活動 第3章各活動・学校行事の目標と内容 第1節ホームルーム活動 2ホームルーム活動の内容（3）一人一人のキャリア形成と自己実現の「主体的な進路の選択決定と将来設計」に基づくものである。また、「キャリア教育の手引き」（文部科学省 平成23年発行）によるキャリア教育で育成すべき基礎的・汎用的能力の一つである「キャリアプランニング能力」に主眼を置いた題材である。

実践協力校では「将来のスペシャリストの育成」を教育目標に掲げ、インターンシップへの参加や外部人材の活用を通して地域産業を担う人材の育成に取り組んでいる。また、生徒が主体的に進路選択や進路実現ができるよう、計画的・組織的・段階的なキャリア教育の推進に努めている。

対象である建築科2年生（40名）は、7割以上が進学希望である。進路決定を1年後に控え、「将来就きたい職業が決まっている」「複数あり悩んでいる」生徒は90.0%に上る。しかし、「将来のための準備をしている」生徒は50.0%に留まり、していない理由は「準備の方法が分からない」が72.7%、「将来のことをまだ考えていない」が18.2%であった。将来の職業への希望はもっているものの、多くの生徒が進路を意識した行動に移せていないことがうかがえる。

生徒が社会人・職業人として自立し、時代の変化に力強く柔軟に対応していくには、自ら人生を切り拓いてキャリアを形成していく力が必要である。キャリアプランを作成し、達成に向けた行動計画を立てることで主体的な進路選択や将来のキャリア形成につなげたいと考え、本題材を設定した。

3 研修との関わり

研修先企業である株式会社ヤマト（以下「ヤマト」）では、人事部や総務部などの管理本部や、環境事業部、大和環境技術研究所、教育センターなどでの研修を行っている。またヤマトでは、採用後の1年から2年に渡る新入社員研修や、配属後の各階層に応じた研修カリキュラムなどのきめ細かな社員教育を行い、社員の意識や各部署の特性に応じたスキルを向上させている。接した社員の多くはキャリア意識をもって学び続け、地域や生活に密着した仕事に責任と誇りをもって働いている。様々な職種の業務に携わる中、社員一人一人が各部署での役割を果たすことで、企業が組織として成り立っていることを改めて実感した。本題材では、研修期間や各部署への配属を経た、これからの活躍が期待される「社会人3年目」のキャリアプランを作成する。生徒に学び続けることと振り返ることの大切さに気付かせ、将来のキャリアを形成していく第一歩としたい。

4 指導方針

- （1）職業調べの事前活動を通して、仕事と社会とのつながりや自身の将来像への思考を深められるようにする。
- （2）異なる視点の意見をまとめて課題の解決を図れるよう、対話的な活動の場面を設定する。
- （3）キャリアプランの作成は自身の強みを生かす内容とし、主体的な進路選択やキャリア形成につながるよう配慮する。

5 評価規準（事前の活動→本時の活動→事後の活動）

評価規準	よりよい生活を築くための知識・技能	社会人に必要な資質・能力を理解している（ワークシート）。
	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	キャリアプランの作成を通して将来の目標設定をし、達成に向けた具体的な行動計画を立てられている（ワークシート）。

	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度		
時間	伸ばしたい資質・能力		主な学習活動
	知識・理解	思考・判断・実践	
事前の活動		・職業について考え、ワークシートに取り組んでいる。	・事前アンケート ・事前ワークシート ・社会人基礎力チェックシート
本時の活動	・社会人に必要な資質・能力について理解している。	・自分の強みや、伸ばしたい資質・能力を判断している。 ・キャリアプランを作成し、目標達成のための具体的な行動計画を立てることができる。	・グループワーク ・ワークシート
事後の活動			・事後アンケート

6 本時の学習指導

- (1) **ねらい** 社会人3年目のキャリアプランを作成することで将来のキャリア形成を見通し、目標の達成に向けた具体的な行動計画を立てる。
- (2) **準備** 【教員】：プレゼンテーション資料、ワークシート、パソコン、プロジェクタ、ICT 端末、付箋、ケント紙、ストップウォッチ
【生徒】：筆記用具、ICT 端末
- (3) **展開**

学習活動 ・予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価) (太字はキャリア教育との関わり)
<導入> 1 研修先企業「ヤマト」について知る。 2 本時の目標を知る。 —予想される生徒の反応— ・会社ってこんなにたくさんの部署と職種で成り立っているのか。 ・色々な部署で研修をしているのか。	10分 5分	・研修先企業を紹介し、1年間の研修内容や会社組織について説明する。 ・研修先企業の仕事が、多くの職種から成り立っていることを説明する。 ・事前に行ったアンケートの結果を提示し、本時の目標を明確にする。
目標 「社会人3年目のキャリアプラン」を作成し、達成に向けた行動計画を立てる		

<p><展開></p>		
<p>[ワークシート①]</p>		
<p>3 事前に取り組んだワークシートの内容を基に、就きたい職種に必要な資質・能力を付箋に書き出す。</p>	<p>10分</p>	<ul style="list-style-type: none"> 付箋には自由かつ簡潔に記入させ、質より量を重視させる。 ◎ワークシートの内容に不足がある場合は、教員や周囲の生徒からの支援により捉えさせる。
<p>4 付箋をカテゴリ別に分けてそれぞれ見出しを付け、社会人に必要な資質・能力について話し合う（グループワーク）。</p>	<p>15分</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1 グループ4名とし、役割分担（進行・書記・発表・記録）をして参加意識をもたせる。 個人の考えをまとめさせた後に、グループでの話し合いを行わせる。
<p>5 発表を通して、全体で共有する。</p>	<p>5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> グループワークの結果を写真に記録し、ICT端末（デジタルホワイトボード）で共有する。
<p>[ワークシート②]</p>		
<p>6 社会人基礎力チェックの結果をICT端末で確認し、自分の強みと弱みを把握する。</p>	<p>5分</p>	
<p>～ 休憩 ～</p>	<p>10分</p>	
<p>7 社会人基礎力について知る。</p>	<p>5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> 経済産業省が提唱している社会人基礎力について説明する。
<p>8 「社会人3年目のキャリアプラン」を作成する。</p>	<p>15分</p>	<ul style="list-style-type: none"> グループワークの結果を踏まえて、自分の強みを生かしたり伸ばしたりできるプランを考えさせる。 ◎必要に応じて、教員のキャリアプランをICT端末で共有し、参考例とする。
<p>9 「社会人3年目のキャリアプラン」に近付くため、明日からの高校生活での目標を決定する。</p>	<p>15分</p>	<ul style="list-style-type: none"> 残りの高校生活での到達目標を「何を学ぶか」「どのように学ぶか」「どのように活躍するか、発揮するか」の項目で具現化させる。 ◇「社会人3年目のキャリアプラン」に近付くために、残りの高校生活での目標を立てることができる（キャリアプランニング能力）（ワークシート）。【思考・判断・表現】
<p>10 発表を通して、全体で共有する。</p> <p>—予想される生徒の反応—</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会人に必要な能力を伸ばすために、今から準備が必要なのか。 仕事だけでなくワークライフバランスが大切なのか。 	<p>5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> 他者の発表から気付きを得られるように声掛けなどで促す。

<p><まとめ> 11 社員アンケートやメッセージから、設定した目標を見直し、実行する意欲を高める。</p> <p>—予想される生徒の反応—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会に出ても学ぶことが必要なのか。 ・学び続けることだけでなく、キャリアを意識することや振り返ることも大切なのか。 	<p>10分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートやメッセージから気づきを得られるように声掛けなどで促す。 ・学び続けることと振り返ることの大切さを伝え、キャリアオーナーシップの意識をもたせる。 <p>◇学び続けることや振り返りの大切さを理解し、他者の発表や社員アンケート、メッセージより得た気づきから高校生活での目標を見直している（ワークシート）。【知識・理解】</p>
--	------------	---

※資料添付

- ・ワークシート
- ・社会人基礎力チェックシート